

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年03月02日

計画の名称	一宮市における流域浸水対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	一宮市												
計画の目標	洪水や浸水被害との闘いの歴史を継承し、地域と連携してハード対策や大規模災害に備えた施設づくりを実施し、風水害に対して安全・安心な地域を形成する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,460	A	3,460	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R7末
1	雨水を貯留させ、浸水被害が想定される面積を54ha（R3年度）から43ha（R7年度）に減少させる。 浸水被害が想定される面積 （施工後浸水面積 / 浸水面積（54ha））	54ha	ha	43ha
2	事業箇所における浸水被害戸数を82戸（R3年度）から67戸（R7年度）に減少させる。 浸水被害戸数 （施工後浸水被害戸数 / 浸水被害戸数（82戸））	82戸	戸	67戸

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
愛知県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A03-001～002、A08-003～005												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-001	河川	一般	一宮市	直接	一宮市	流貯（ 2）	—	日光川流域貯留浸透事業	流域貯留施設 N=1箇所	一宮市	■					130	5.97	—
	A03-002	河川	一般	一宮市	直接	一宮市	流貯（ 1）	—	新川流域貯留浸透事業	流域貯留施設 N=6箇所	一宮市	■	■	■	■	■	900	1.25	—
											小計						1,030		
その他総合的な治水 事業	A08-003	総合治水	一般	一宮市	直接	一宮市	準用	—	庄内川・木曾川圏域総合 流域防災事業（川崎川）	護岸工L=497m	一宮市		■	■	■	■	2,000	5.1	—
	A08-004	総合治水	一般	一宮市	直接	一宮市	準用	—	庄内川・木曾川圏総合流 域防災事業（千間堀川）	護岸工L=220m, 橋梁改修	一宮市	■	■	■			250	4.80	—
	A08-005	総合治水	一般	一宮市	直接	一宮市	準用	—	庄内川・木曾川圏域総合 流域防災事業（新丹波川 ）	流入施設工 N=1箇所	一宮市	■	■	■	■	■	180	5.1	—
										小計							2,430		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果 備考																			
											合計					3,460			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 一宮市における流域浸水対策の推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 新川流域水害対策計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
3) 一宮市総合治水計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
4) 新川流域貯留施設基本計画と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されてる。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
4) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
5) ハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境がある。（事業熟度、市民等の理解を得た事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
2) 地元の機運がある。（市民、民間等の活動による事業効果発現の確実性）	○

【図面】（河川事業）

